

家庭菜園 1

野菜を選ぶ条件

1. 野菜の好む天候と土質に合ったもの
2. 自分の経験、設備、技量で作れるもの
3. 病害虫が少ないもの
4. 家族の好みに合い、比較的短期間で収穫できるもの
5. 新鮮さを楽しめ、生食できるもの
6. 珍らしく、売っていないもの
7. 工夫しだいで簡単に楽しめるもの

日当たりと野菜

強い光を好むもの キュウリ、ニンジン、オクラ、インゲンマメ、エンドウ、エダマメ、ソ
ラマメ、ニラ、ピーマン、トマト、ナス

やや強い光を好むもの シソ、シュンギク、レタス、セロリ、イチゴ、サトイモ、ショウガ、ネギ、
タマネギ

弱い光を好むもの ミツバ、フキ、ミョウガ

主な野菜のまき時と収穫

☞ タネまき
☞ 植え付け
■ 収穫期

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
葉												
パセリ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ホウレンソウ	■			☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
シュンギク				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
コマツナ	■			☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
セロリ					☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
キャベツ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
コモチカンラン				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ハクサイ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
タマネギ					☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
レタス	■			☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
トマト				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ナス				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
キュウリ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
カボチャ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ピーマン				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
イチゴ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ソラマメ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
エンドウマメ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
トウモロコシ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
オクラ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
エダマメ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ジャガイモ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
サトイモ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
サツマイモ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
コカブ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
三寸ニンジン				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
トキナシダイコン				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
秋ダイコン				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ショウガ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞
ゴボウ				☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞	☞

播種・植え付け・収穫の時期は、品種・作型によって多少変わります。



家庭菜園 2

鉢や箱作り菜園のポイント

庭や畑とは環境が異なるので次のことに注意しましょう。

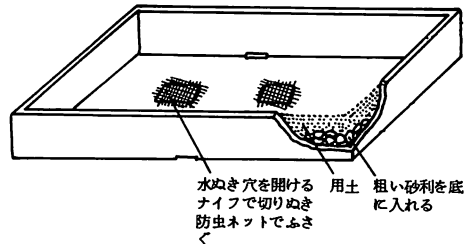
1. 鉢, プランターなど限られた → 水はけ, 保水性のよい用土を使い, 根を十分発育させる容器で栽培する 肥料切れさせない。
2. 風が強く, 乾燥がはげしい → 水やりの増減, 用土の改良, 有機物の混入, 品種の選択, 寒冷紗やヨシズで風を防ぐ。
3. 重くて扱いにくい → パーミキュライト, パーライトなど軽い人工用土や赤玉土, ピートモスを用い, 丈夫な容器で作る。

鉢や箱作りに適する野菜

1. 軟弱野菜 シュンギク, ミツバ, ニラ, ワケギ, クレソン, カイワレダイコン, セリ, レタス, パセリ, サラダナ, ネギ
2. 葉菜類 ホウレンソウ, コマツナ, タイサイ, セロリ, コモチカンラン, ブロッコリー, ハナヤサイ, シロナ, セレタス, 中国野菜
3. 果菜類 ナス, ピーマン, ミニトマト, キュウリ, メロン, エダマメ, オクラ, ソラマメ, インゲンマメ, レイシ, イチゴ, キュウリ
4. 根菜類 ハツカダイコン, ニンジン, ビート, コカブ, ジャガイモ, ショウガ, サトイモ
5. 香辛野菜 バジル, キャトニップ, チャービル, ディル, セイジ, チャイブス, タイム

栽培容器

1. 植木鉢 定植用には大きめのもの7~8号 (21~30cm) を使用します。
2. プランター
3. 発泡スチロール製トロ箱
葉菜用=浅箱50×30×10cm (縦×横×深さ)
根菜・果菜用=深箱35×35×25cm



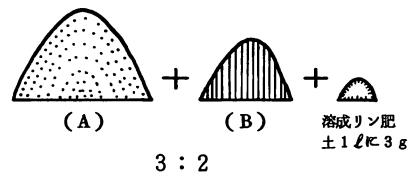
発泡スチロール製トロ箱

用土

- (A) 赤玉土または真砂土, 川砂, パーライト, パーミキュライトなど
- (B) 腐葉土またはピートモス, 堆肥など
- (A)と(B)を3:2の割合で混合し, 溶成リン肥 (±1ℓに3g)を加えたものを使います。

肥料

鉢や箱作りでは, 元肥よりも追肥に重点をおきます。追肥には, 高度化成肥料 (3要素各10%以上含む) を1000倍に溶かして与えます。市販液体肥料の200~500倍液を使ってもよい。



用土の作り方



青森市植物公園